



奄美市健康体験交流施設 再生プロジェクト



鹿児島県奄美市紬観光課

2023年8月22日



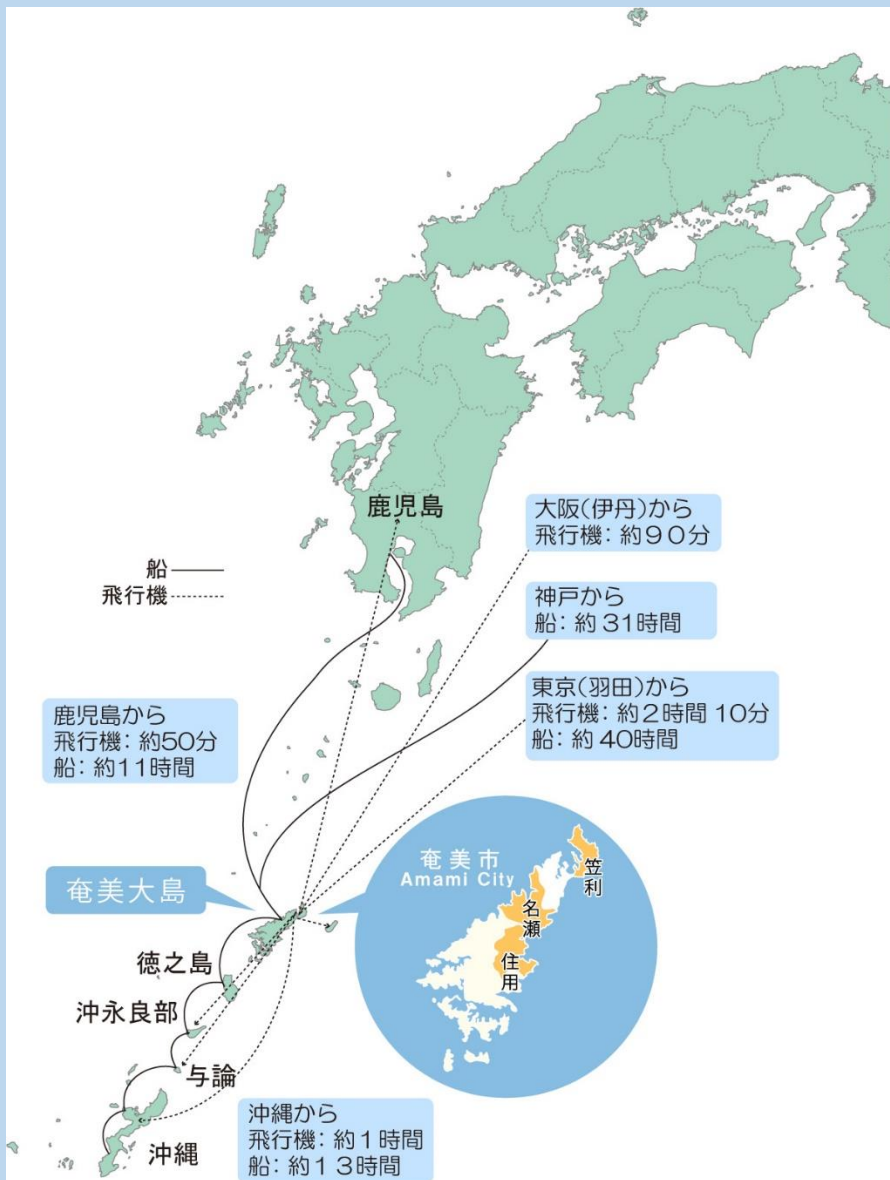
奄美市の位置

奄美群島は鹿児島市の南西約370～460 kmの範囲に広がる有人8島（奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島外3島）の総称です。

奄美市は奄美大島の北部に位置する群島の拠点都市です。

面積 308.33km²

人口 41,764人（R4.8月末）



名瀬地区



住用地区



笠利地区



各地区の紹介

奄美市は平成18年3月20日に1市1町1村が合併し誕生しました。

中核都市機能を持つ名瀬地区、緑豊かな森林と清流を持つ住用地区、広い農地と美しい海岸線を持つ笠利地区で構成されています

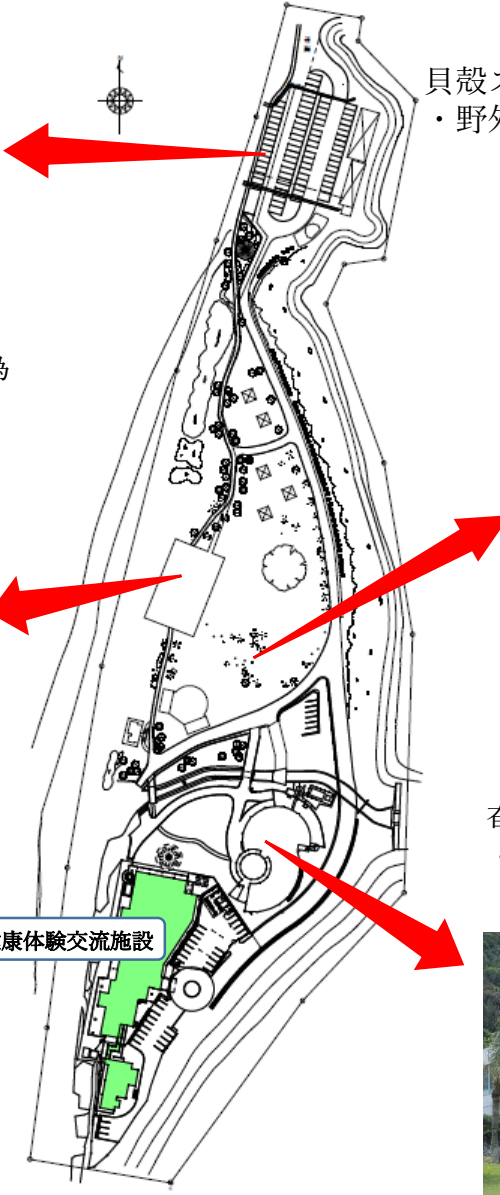
今回は名瀬地区に位置する施設整備事業についてです。



駐車場
 ・写真の駐車場の他、大浜海浜公園利用者の為全部で3箇所の駐車場を完備しています。



バスハウス
 ・平成30年竣工
 鉄筋コンクリート造2階建て
 トイレ、シャワー室、レンタルルーム



貝殻ステージ広場
 ・野外イベント会場にもなるステージ



奄美海洋展示館
 ・平成9年竣工
 鉄筋コンクリート造2階建て



周辺施設

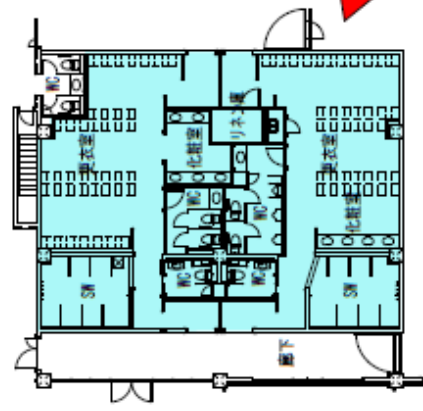
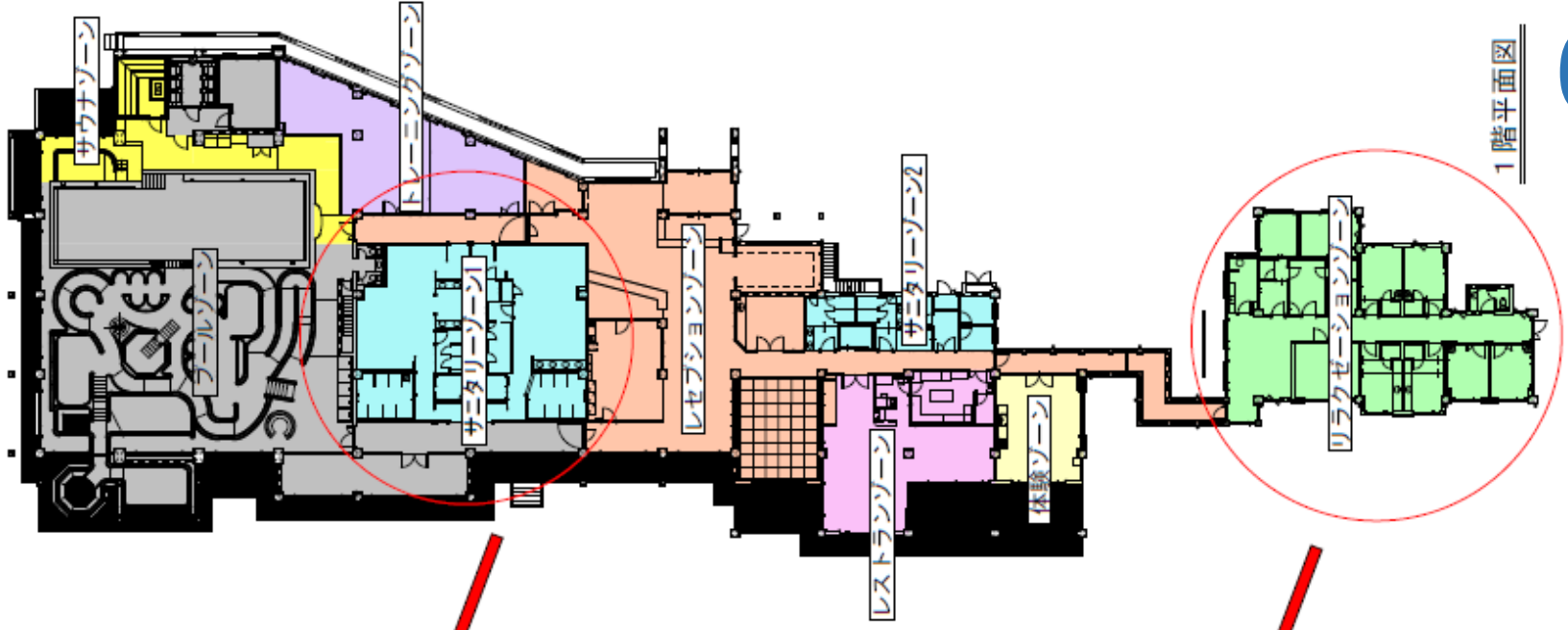
当初の目的

「タラソ奄美の竜宮」は海水を利用した海洋療法によって、市民の健康増進と福祉の向上を図り、市の観光振興に資することを目的として建設した施設であり、オープンしてから17年間で延べ100万人を超える方々の利用がありました。そのうちの8割がリピーターとなっており、市民サービスの拠点施設として重要な役割を担ってきた施設として位置づけられていました。

指定管理者による運営

指定管理者による運営においては、健康・福祉を主とした事業展開を行っており、観光客の利用者数の伸びが思わしくない状況でした。約8割がリピーターの状況では、人口減少や少子化が進む中において、経営規模を縮小せざるを得ない状況に陥り、経営悪化に繋がっていったと推測しております。

1階平面図



サニタリーゾーン1 (拡大図)



リラクゼーションゾーン (拡大図)

施設概要

所在地：鹿児島県奄美市名瀬大字小宿（大浜海浜公園内）

用途地域：都市計画区域内 区域区分非設定

奄美群島国立公園：第3種特別区域

敷地面積：4,952.06㎡

建築面積：1,953.42㎡

延床面積：2,246.66㎡

構造：RC造（地上1階、地下1階）

建設費：105,000万円

建築年月日：平成18年10月

施設の構成：プールゾーン、レセプションゾーン、トレーニングゾーン、サニタリーゾーン、レストランゾーン、体験ゾーン、リラクゼーションゾーン

事業者の皆様へお伺いしたいこと

- ①新しい施設のコンセプト及び集客力につながるアイデアの提案について
- ②周辺施設を含めた観光拠点づくりや運営等の参画について
- ③本施設の再生にかかる改修費用及び運営開始後の維持管理、運営に係る費用を民間事業者に求めることの可能性について
- ④施設整備、運営管理の公募をする際に、発注者に望むこと

